

福岡市の農林水産業及び中央卸売市場の概況



福岡市農林水産業・市場のシンボルマーク

「みのりん」

令和3年10月
福岡市農林水産局

－ 目次 －

1. 農業の概況

(1)	農家戸数、農業従事者数	P 1
(2)	農家の経営主の平均年齢	P 3
(3)	農地面積	P 3
(4)	耕作放棄地面積	P 3
(5)	生産量	P 4
(6)	生産額	P 4

2. 林業の概況

(1)	規模別山林所有者数（令和2年）個人分	P 6
(2)	森林面積	P 6
(3)	生産量	P 7
(4)	生産額	P 7
(5)	市公共施設整備における木材使用量	P 8

3. 水産業の概況

(1)	漁家戸数、漁業就業者数	P 9
(2)	漁業就業者の平均年齢	P 9
(3)	生産量	P 10
(4)	生産額	P 10

4. 中央卸売市場の概況

(1)	水産物部	P 12
(2)	青果部	P 13
(3)	食肉部	P 14

【参 考】

(1)	一戸あたり農業所得（推計）	P 15
(2)	沿岸漁業の一戸あたり漁労所得（推計）	P 15
(3)	令和2年度福岡市農家所得調査結果	P 16
(4)	令和2年度福岡市漁労所得調査結果	P 18

※資料中のグラフ、表については、単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

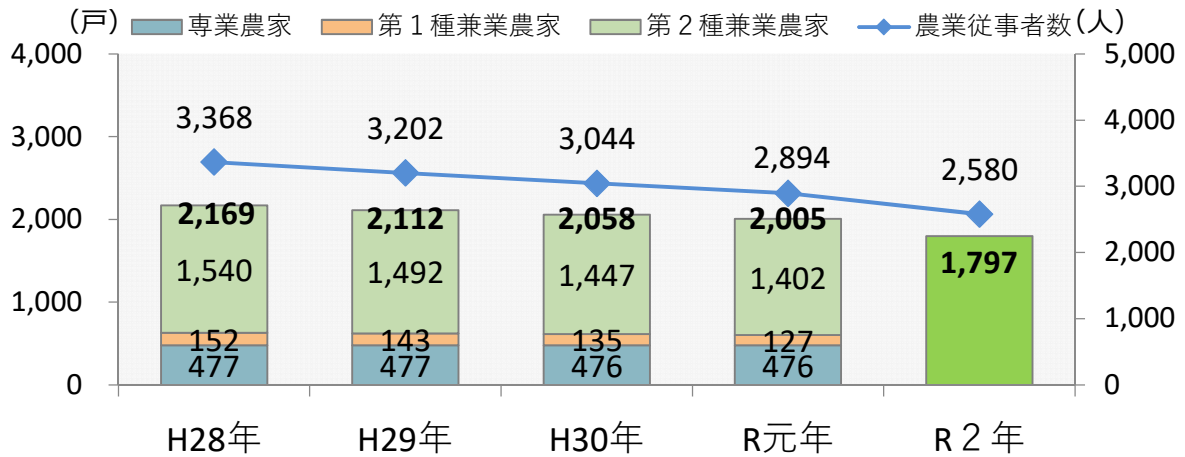
福岡市の農林水産業及び中央卸売市場の概況

※資料中のグラフ、表については、単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

1. 農業の概況

- 農家戸数（対前年比10.4%減）、農業従事者数（対前年比10.9%減）ともに、減少している。
- 生産量（対前年比8.9%減）、生産額(対前年比7%減)ともに減少している。

(1) 農家戸数、農業従事者数



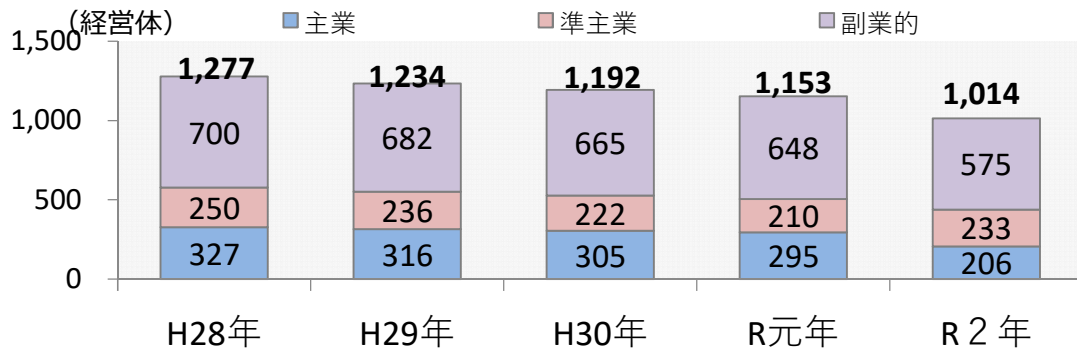
資料：福岡市農林水産統計書

※H28～R元年：国の農林業センサス(2010、2015)を基に推計。第2種兼業農家には自給的農家を含む。

※R2年：国の農林業センサス(2020)の実数。調査項目の変更により、専兼別の内訳不明であるため、参考として、下記(1)-1にて農業経営体の主副業別の内訳を示す。

※各年2月1日時点

(1) - 1 主副業別農業経営体数（個人経営体）



※主業経営体：農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※準主業経営体：農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※副業的経営体：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業経営体及び準主業経営体以外の個人経営体）

※H28～R元年：国の農林業センサス(2010、2015)を基に推計。

※R2年：国の農林業センサス(2020)の実数。

【参考】農家戸数と農業経営体について

福岡市における農家戸数及び農業従事者数は、国の農林業センサスを基に推計しているが、2020年農林業センサスから農家戸数における専業農家・兼業農家を分類するための調査項目が廃止されたため、今回から国の統計で使用されている農業経営体における主副業の分類を用いて、把握するもの。

○用語の定義

用語	定義
農家	経営耕地面積が10 a以上の農業を営む世帯又は農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯
専業農家	経営耕地面積30 a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家（販売農家）のうち、世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家
第1種兼業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる販売農家（兼業農家）のうち、農業所得の方が兼業所得よりも多い農家
第2種兼業農家	兼業農家のうち、兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家
自給的農家	経営耕地面積が30 a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家
農業経営体 （個人経営体）	農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、①経営耕地面積が30 a以上、②農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数等、一定の外形基準以上の規模（露地野菜15 a、施設野菜350㎡、搾乳牛1頭等）、③農作業の受託を実施、のいずれかに該当するもの。そのうち、個人（世帯）で事業を行う経営体を個人経営体という。
主業経営体	農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
準主業経営体	農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
副業的経営体	1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

○農家と農業経営体の対応関係のイメージ

農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家 （自給的農家を含む）
農業経営体	主業経営体		準主業経営体
	副業的経営体		農業経営体に該当しない農家 （自給的農家等）

※農家と農業経営体は定義が異なるため、上記の対応関係は厳密ではない。

(2) 農家の経営主の平均年齢

(単位：歳)

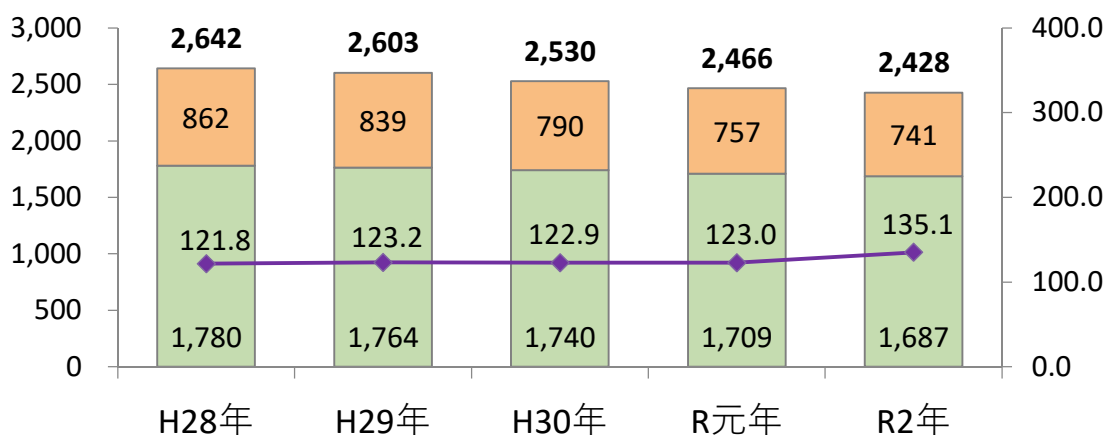
区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
経営主の平均年齢	71.2	71.2	71.7	72.1	72.6
専門農家	63.1	63.4	63.8	64.8	65.2
第1種兼業農家	69.0	69.7	70.4	70.4	70.1
第2種兼業農家	72.0	72.1	72.6	73.0	73.4

資料：農家の実態調査（JA福岡市）

※各年8月1日時点

(3) 農地面積

(ha) 田 畑（果樹園を含む） ◆ 一戸あたりの耕地面積（a）



資料：福岡市農林水産統計書

※各年1月1日時点

(4) 耕作放棄地面積

(単位：ha, %)

区 分	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
耕作放棄地面積	377	388	361	339	338
農地面積に対する割合	14.3%	14.9%	14.3%	13.7%	13.9%

資料：荒廃農地の発生・解消状況に関する調査

※各年11月末時点

<参考>

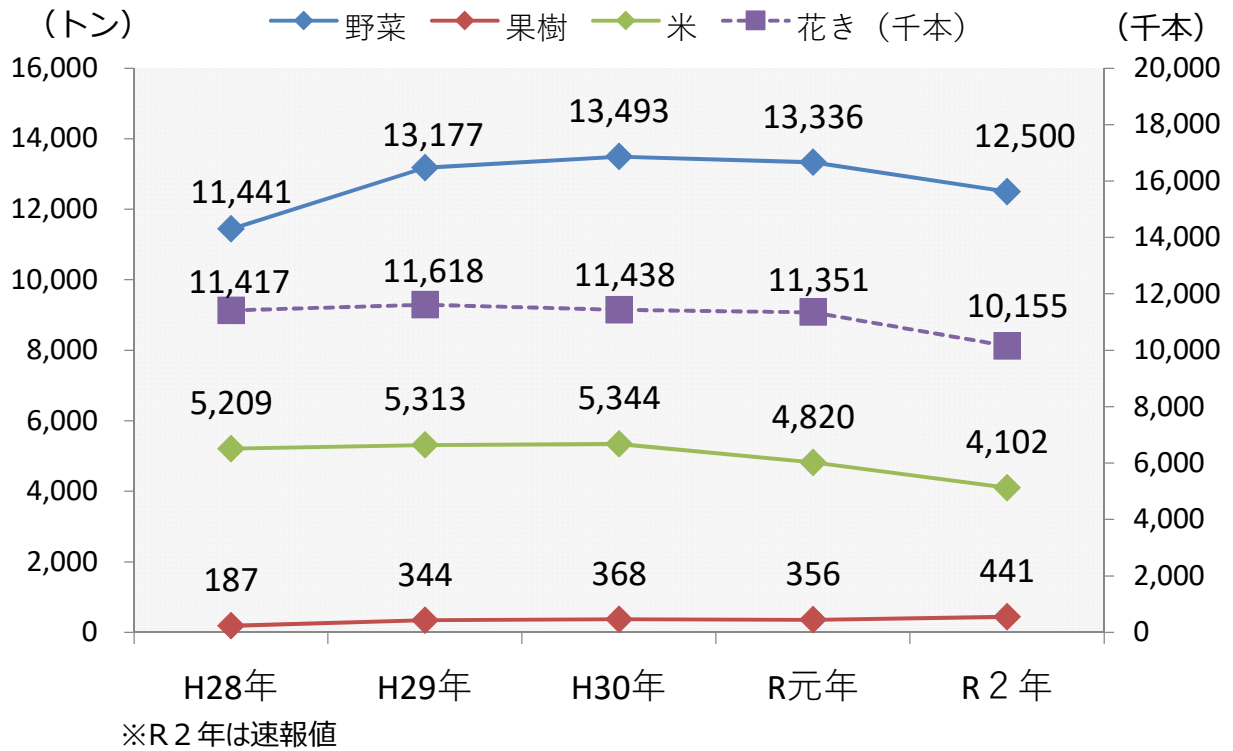
OR2 耕作放棄地面積地区別内訳

(ha)

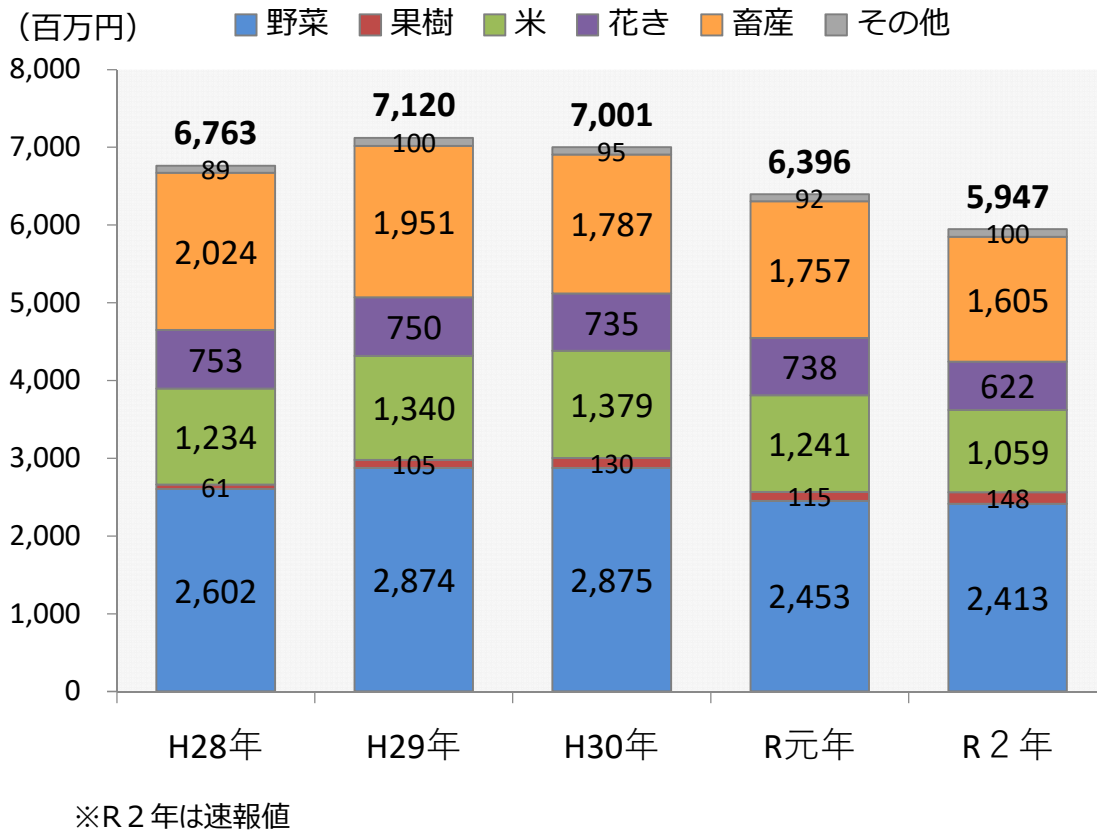
耕作放棄 地面積 338ha	市街化区域を主 とする地区	市街化調整区域を主 とする地区	志 賀	席 田	入 部	脇 山	内 野	金 武	能 古	今 宿	今 津	周船寺	元 岡	北 崎
	20	318	25	4	2	14	17	6	15	4	23	8	16	184

※令和2年11月末時点

(5) 生産量



(6) 生産額



<野菜・花きの品目毎の推移>

区 分		H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比
野菜	生産量(トン)	11,441	13,177	13,493	13,336	12,500	93.7%
	生産額(百万円)	2,602	2,874	2,875	2,453	2,413	98.4%
	だいこん	4,590	5,436	5,601	6,120	5,735	93.7%
		287	382	481	234	233	99.6%
	トマト	1,315	1,603	1,659	1,605	1,521	94.8%
		497	504	478	468	449	95.9%
	キャベツ	1,246	1,390	1,448	1,166	1,221	104.7%
		108	150	160	69	81	117.4%
	かぶ	1,020	1,146	1,277	1,355	1,190	87.8%
		100	129	115	96	81	84.4%
いちご	438	546	504	525	494	94.1%	
	511	631	588	641	643	100.3%	
しゅんぎく	525	577	572	587	653	111.2%	
	293	340	378	378	390	103.2%	
その他	2,307	2,479	2,432	1,978	1,686	85.2%	
	806	738	675	567	536	94.5%	
花き	生産量(千本)	11,417	11,618	11,438	11,351	10,155	89.5%
	生産額(百万円)	753	750	735	738	622	84.3%
	バラ	3,571	3,513	3,587	3,794	3,434	90.5%
		287	289	288	310	248	80.0%
	ストック	1,618	2,085	1,903	1,859	1,829	98.4%
		117	114	105	120	104	86.7%
	ガーベラ	1,093	907	893	840	661	78.7%
		20	16	14	15	11	73.3%
	トルコギキョウ	876	756	759	689	652	94.6%
		55	47	51	44	54	122.7%
菊	936	900	871	886	830	93.7%	
	45	40	37	40	38	95.0%	
その他	3,323	3,457	3,425	3,283	2,749	83.7%	
	229	244	240	209	167	79.9%	

※ 野菜は、R2年の生産量、生産額の上位5品目、花きは上位3品目を含む

※ R2年は速報値（最新の市場経由率を使用していないため暫定の数字）

野菜

R2年 生産量上位5品目 (1) だいこん (2) トマト (3) キャベツ (4) かぶ (5) しゅんぎく
R2年 生産額上位5品目 (1) いちご (2) トマト (3) しゅんぎく (4) だいこん (5) かぶ

花き

R2年 生産量上位3品目 (1) バラ (2) スtock (3) 菊
R2年 生産額上位3品目 (1) バラ (2) スtock (3) トルコギキョウ

野菜、果樹、花きについては、卸売市場（市内及び市外）での取扱数量・金額を基に、各年の国産青果物の卸売市場経由率（81～88%）から算定したもので、加工、自家消費等は含まない。ただし、米については、需給調整による作付面積（実績値）を基に、生産量については単位面積あたりの収量を乗じて算定し、生産額については当該生産量に販売単価を乗じて算定したもので、自家消費等を含む。

2. 林業の概況

- 山林所有者の約98%が5 h a 未満の所有である。
- 生産量、生産額は、前年と比べ減少したが、長期的には増加傾向である。

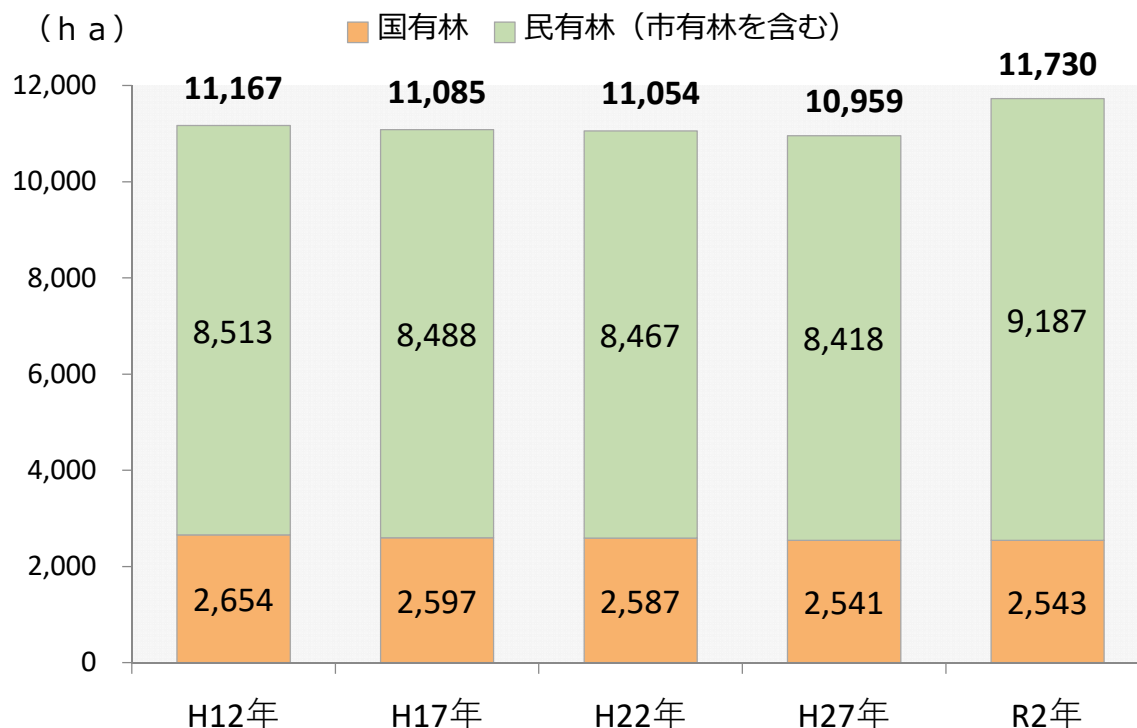
(1) 規模別山林所有者数（令和2年）個人分

（単位：人，ha）

区分	総数	1ha未満	1以上-5未満	5以上-10未満	10以上-50未満	50 h a 以上
所有者数	5,469	4,453	910	85	21	-
割合	100	81.4	16.6	1.6	0.4	-

資料：福岡県「福岡地域森林計画書」

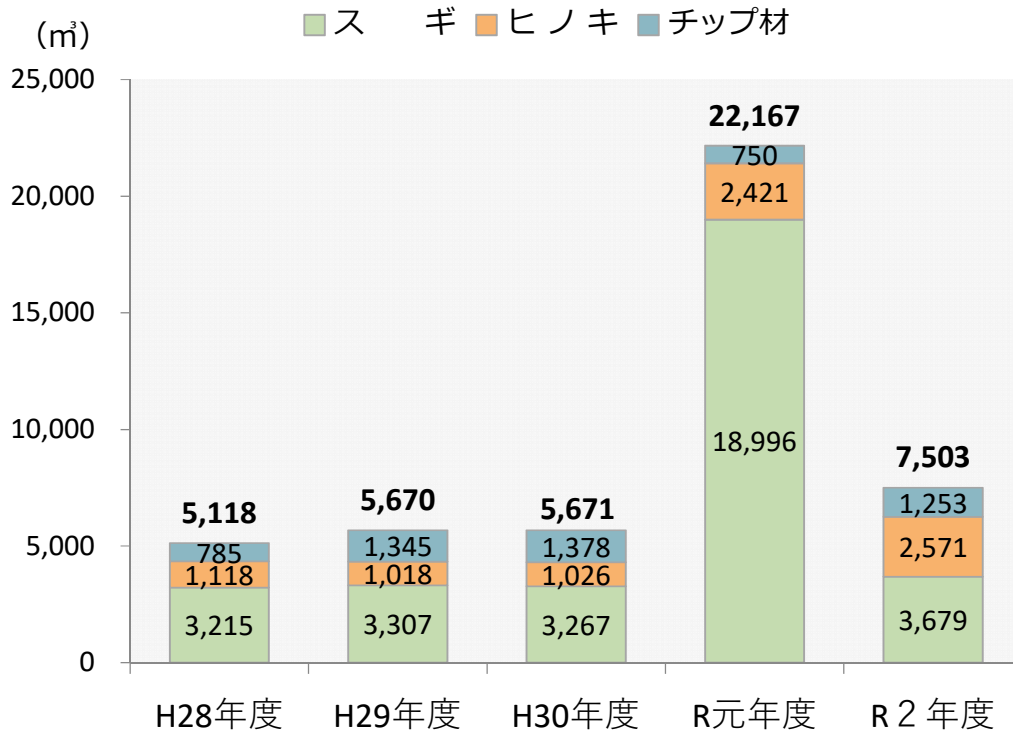
(2) 森林面積



資料：福岡県「福岡地域森林計画書」

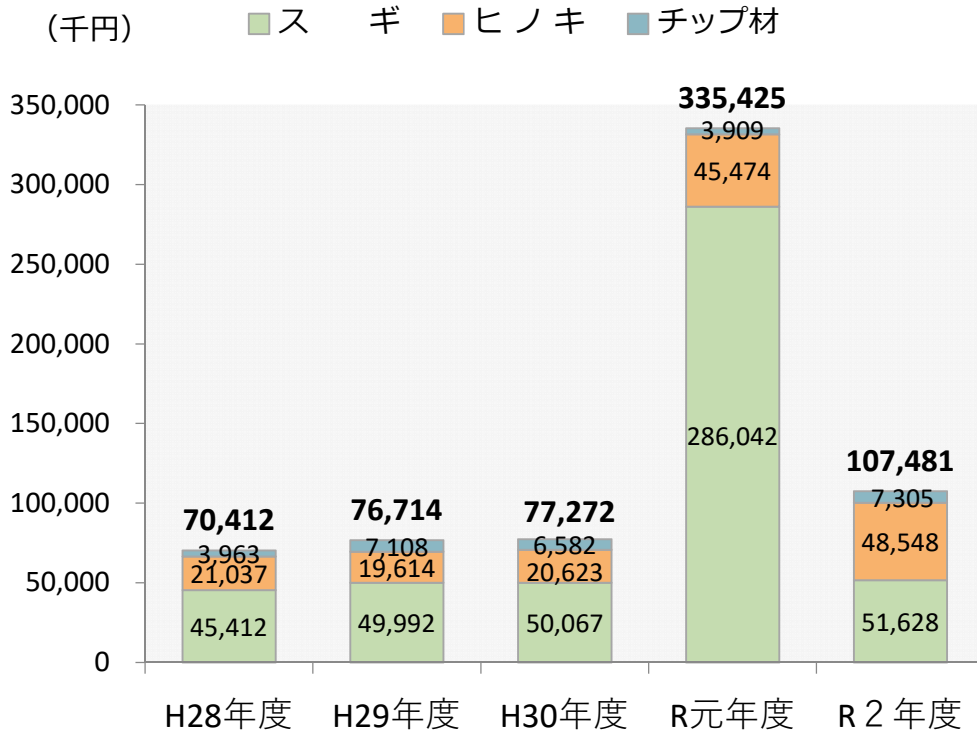
※令和2年の面積増加分は面積測定方法の変更（紙図面→コンピュータ上）による。
市街地等に多く所在する、県が定める地域森林計画に該当しない森林が増加面積の多くを占める。

(3) 生産量



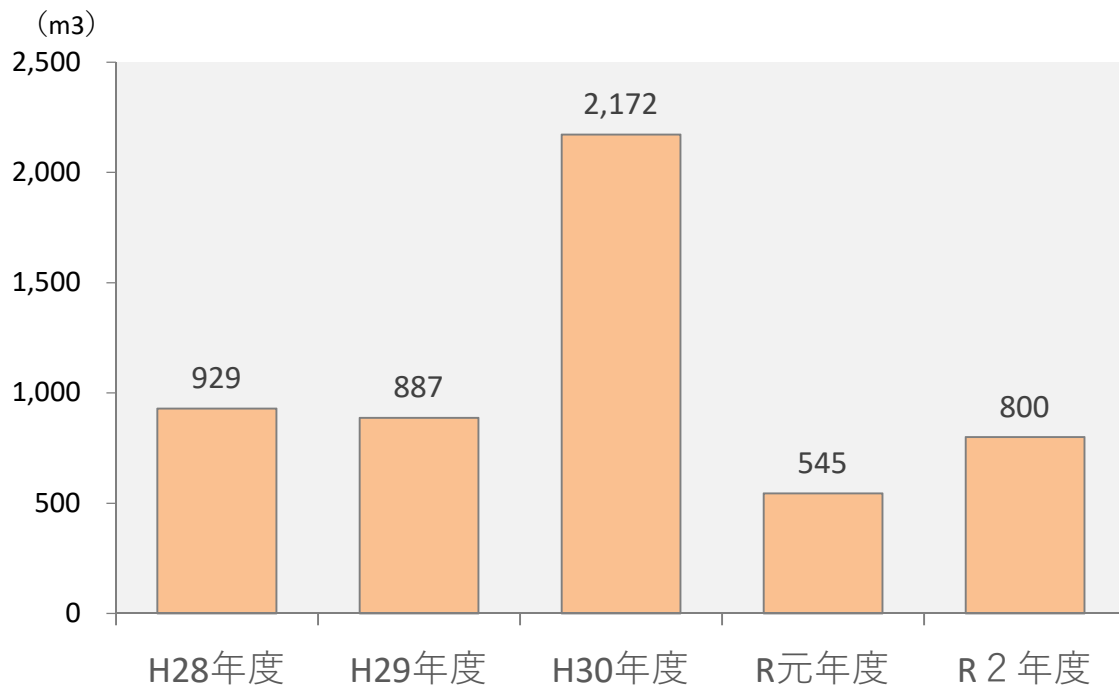
資料：福岡市農林水産統計書

(4) 生産額



資料：福岡市農林水産統計書

(5) 市公共施設整備における木材使用量



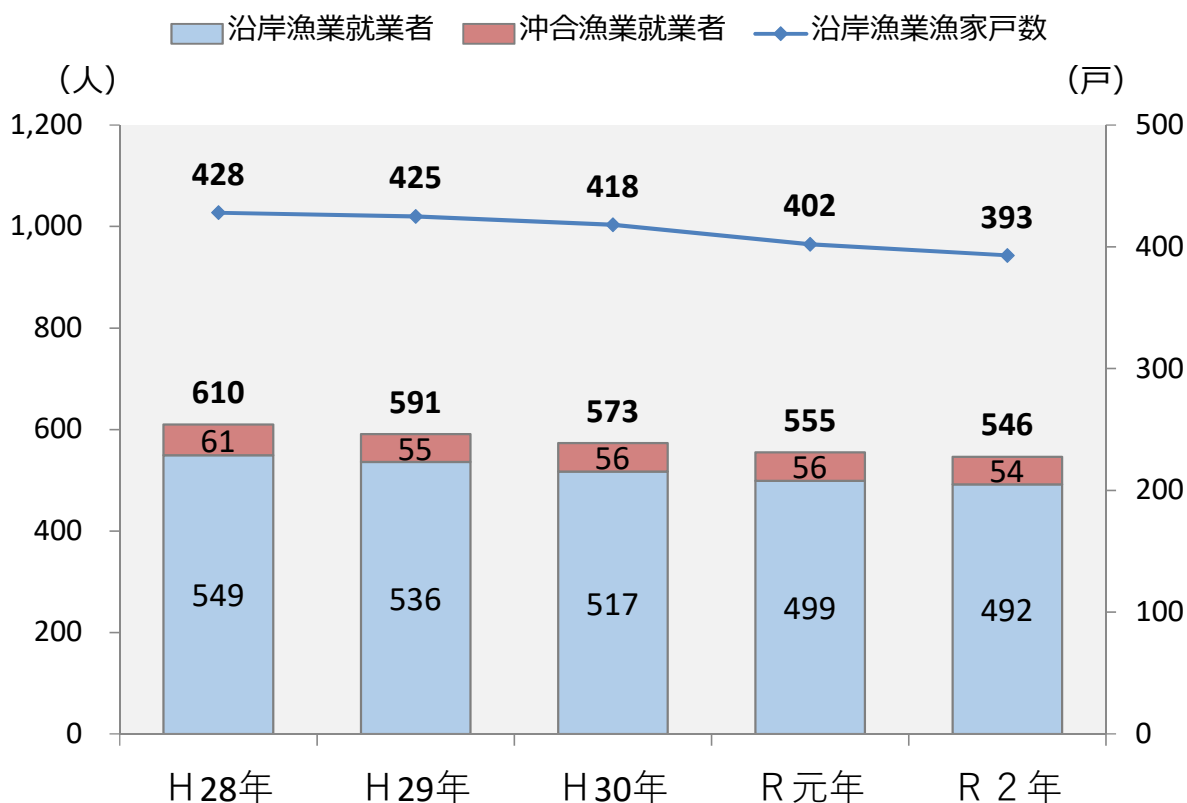
(単位: m³)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
木材使用量	929	887	2,172	545	800
(参考) 主な使用箇所	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅 (下山門他) 小中学校 (西都小他) 	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅 (六高他) 小中学校 (香椎浜小他) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館 公民館(百道) 福岡市美術館 市営住宅 (城浜他) 小中学校 (照葉北小他) 	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅 (香岐他) 小中学校 (賀茂小他) 公民館 (田村他) 	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅 (城浜他) 鮮魚市場会館 小中学校 (今宿小他)

3. 水産業の概況

- 漁家戸数（対前年比2.2%減）、漁業就業者数（対前年比1.6%減）ともに減少している。
- 生産量は、沿岸漁業（対前年比3.3%減）、沖合漁業（対前年比27.7%減）ともに減少したため、全体も減少（対前年比18.1%減）、生産額も、沿岸漁業（対前年比11.3%減）、沖合漁業（対前年比10.3%減）ともに減少したため、全体も減少（対前年比11%減）している。

（1）漁家戸数、漁業就業者数



資料：福岡市農林水産統計書
 ※各年12月末時点

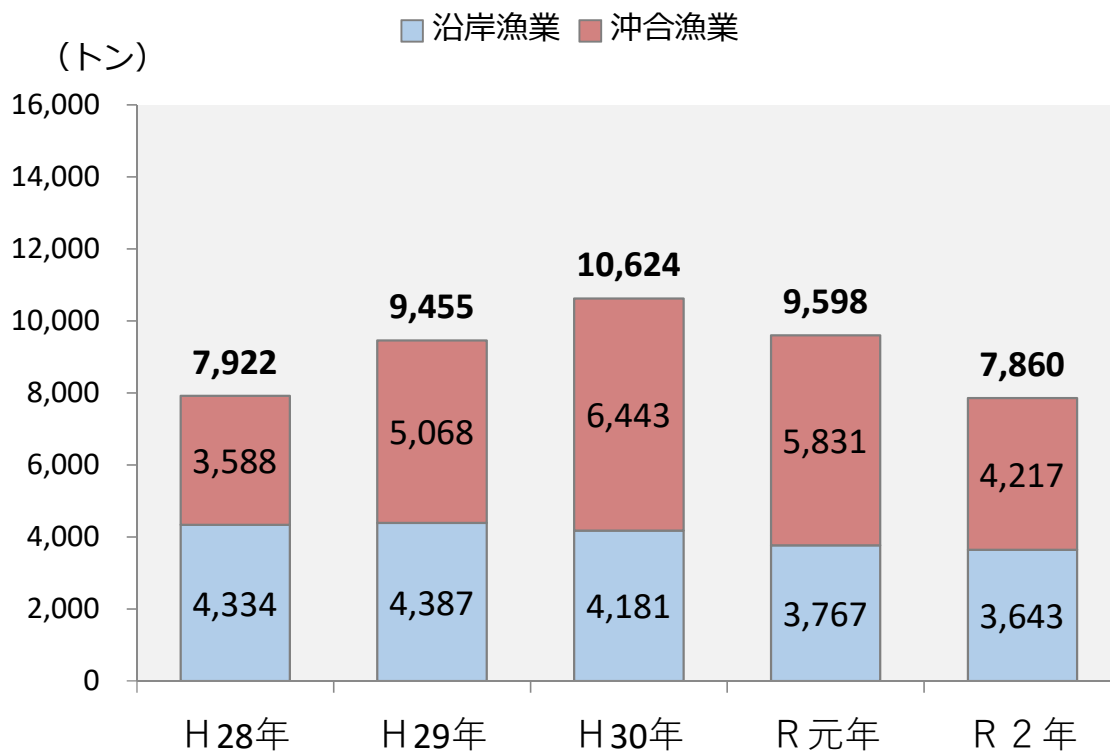
（2）漁業就業者の平均年齢

(単位：歳)

区分	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
就業者の平均年齢（沿岸）	59.3	59.9	59.9	59.9	60.2

資料：漁家調査
 ※各年12月末時点

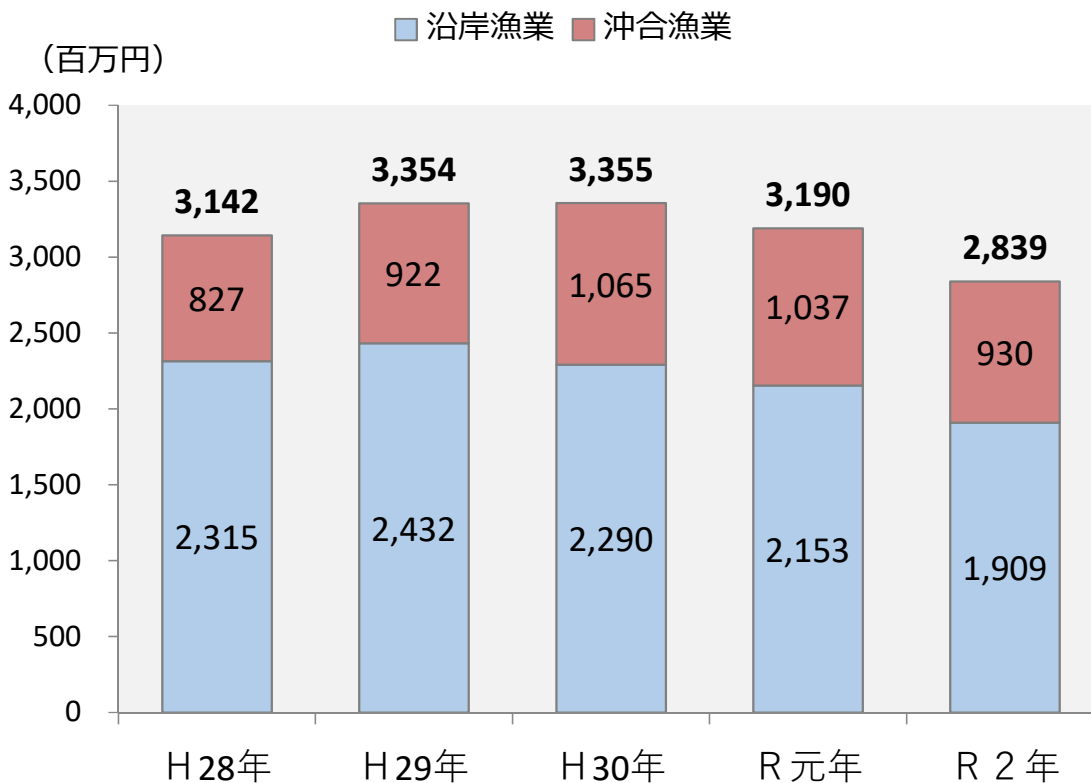
(3) 生産量



資料：福岡市農林水産統計書

※ R2年は速報値

(4) 生産額



資料：福岡市農林水産統計書

※ R2年は速報値

<魚種毎の推移>

区 分		H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比	
沿岸漁業	生産量(トン)	4,334	4,387	4,181	3,767	3,643	96.7%	
	生産額(百万円)	2,315	2,432	2,290	2,153	1,909	88.7%	
	タイ		649	618	684	690	682	98.8%
			388	376	407	452	378	83.6%
	ブリ		420	555	532	457	416	91.0%
			176	218	226	189	153	81.0%
	コノシロ		245	165	168	185	265	143.2%
			22	25	30	30	44	146.7%
	ワカメ		258	298	220	184	250	135.9%
			63	75	56	49	63	128.6%
	カワハギ		715	719	513	452	243	53.8%
			268	217	137	143	105	73.4%
	サワラ		161	218	142	161	209	129.8%
			136	196	154	139	169	121.6%
タコ		138	113	180	84	168	200.0%	
		47	47	71	32	66	206.3%	
ノリ		162	133	205	148	138	93.2%	
		81	82	104	85	95	111.8%	
その他		1,586	1,568	1,537	1,406	1,272	90.5%	
		1,134	1,196	1,105	1,034	836	80.9%	
沖合漁業	生産量(トン)	3,588	5,068	6,443	5,831	4,217	72.3%	
	生産額(百万円)	827	922	1,065	1,037	930	89.7%	
	サバ		1,929	2,523	4,496	4,186	1,981	47.3%
			158	217	445	423	225	53.2%
	アジ		1,128	1,792	1,660	1,314	1,865	141.9%
			242	273	341	289	416	143.9%
	イカ		205	133	109	58	107	184.5%
			146	114	85	67	116	173.1%
	マグロ		1	51	38	63	33	52.4%
			3	176	124	219	126	57.5%
その他		325	569	140	210	231	110.0%	
		278	142	70	39	47	120.5%	
合計	生産量(トン)	7,922	9,455	10,624	9,598	7,860	81.9%	
	生産額(百万円)	3,142	3,354	3,355	3,190	2,839	89.0%	

※ 沿岸漁業は、R2年生産量・生産額の上位5種、沖合漁業は上位3種を含む

※ R2年は速報値

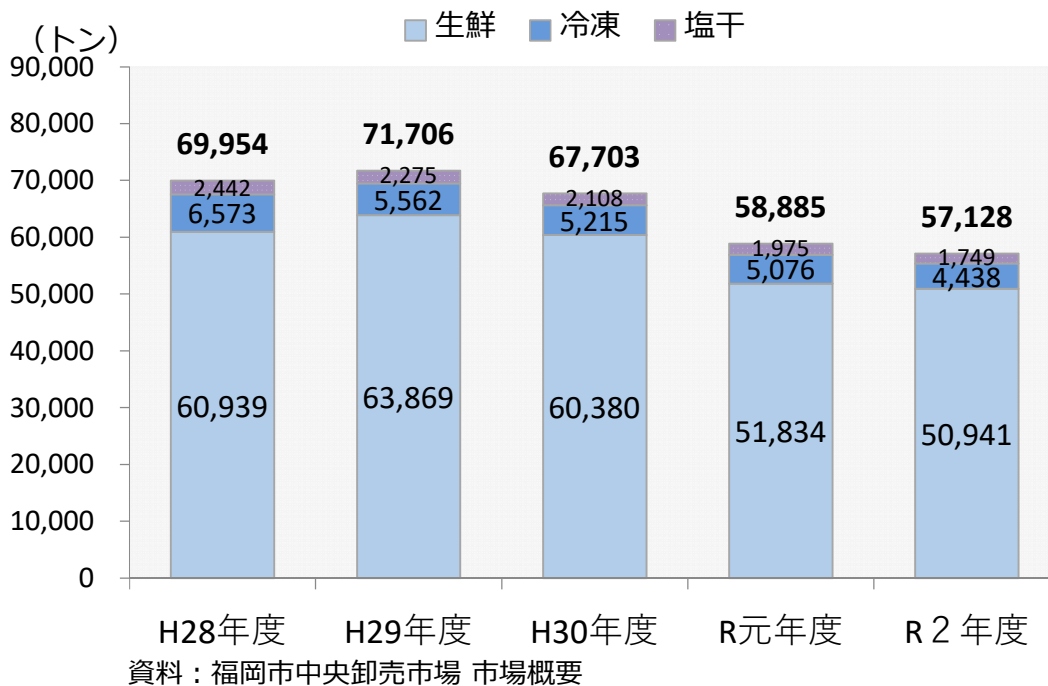
沿岸	R2年 生産量上位5種	(1) タイ	(2) ブリ	(3) コノシロ	(4) ワカメ	(5) カワハギ
	R2年 生産額上位5種	(1) タイ	(2) サワラ	(3) ブリ	(4) カワハギ	(5) ノリ
沖合	R2年 生産量上位3種	(1) サバ	(2) アジ	(3) イカ		
	R2年 生産額上位3種	(1) アジ	(2) サバ	(3) マグロ		

4. 中央卸売市場の概況

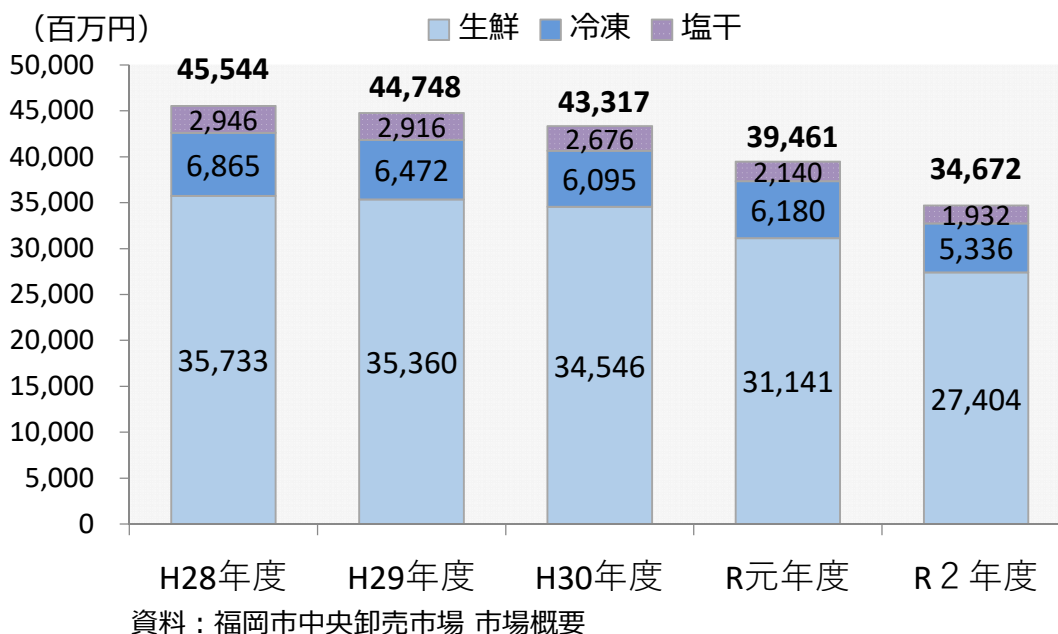
- 水産物部 取扱数量（対前年度比3.0%減）
取扱金額（対前年度比12.1%減）ともに減少している。
- 青果部 取扱数量（対前年度比1.1%減）は減少したが、
取扱金額（対前年度比5.4%増）は増加している。
- 食肉部 取扱数量（対前年度比3.8%増）
取扱金額（対前年度比9.9%増）ともに増加している。

（1）水産物部

<取扱数量>

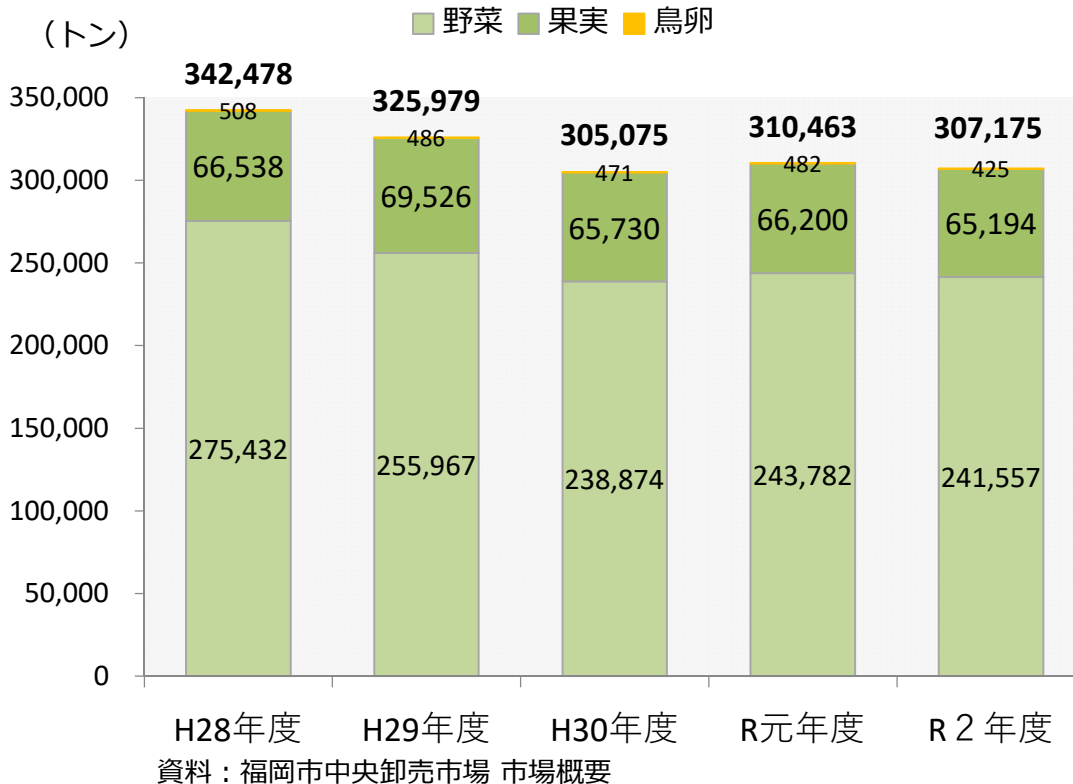


<取扱金額>

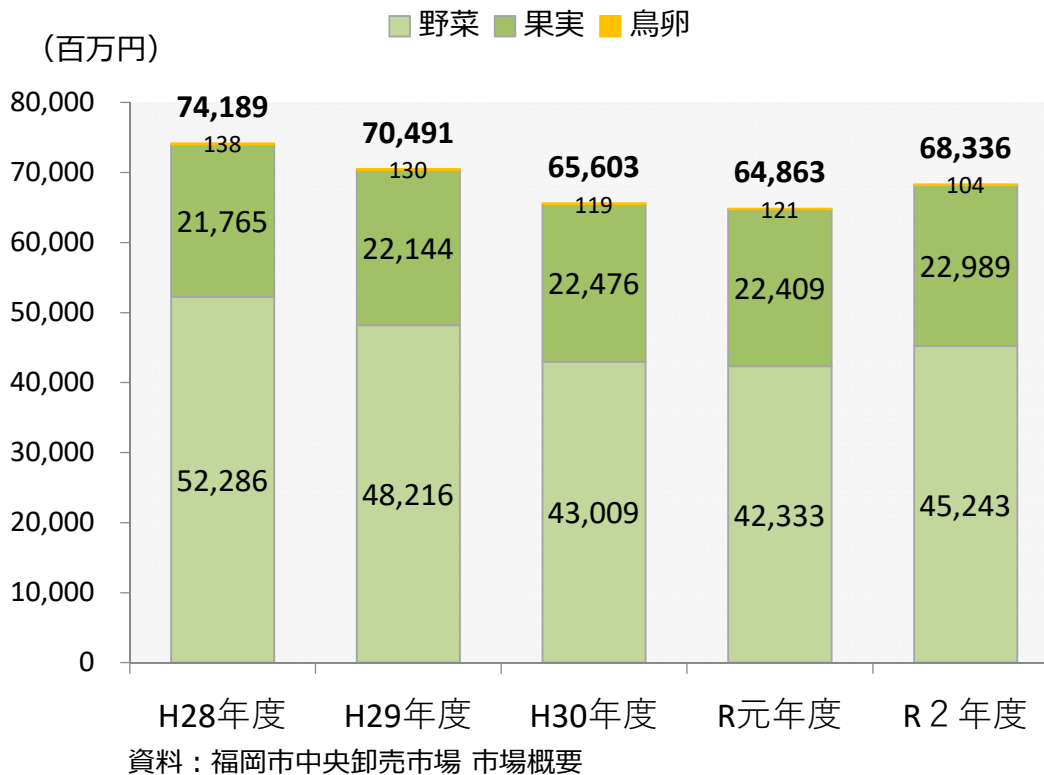


(2) 青果部

<取扱数量>

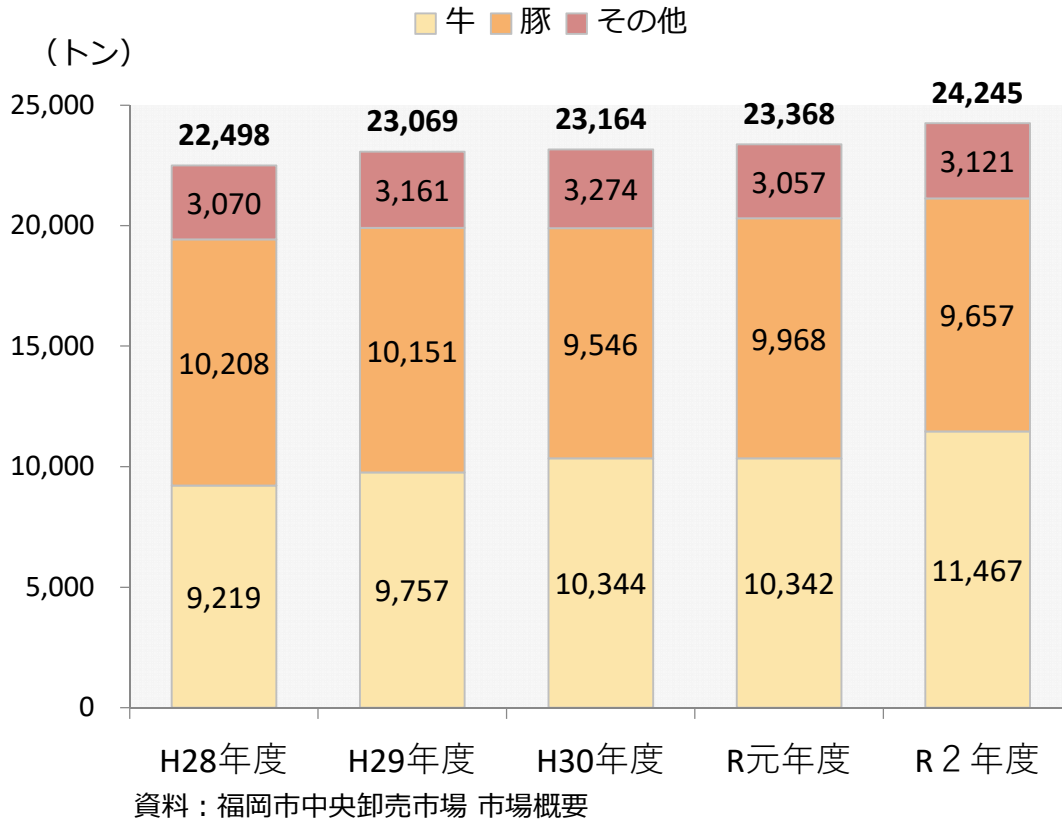


<取扱金額>

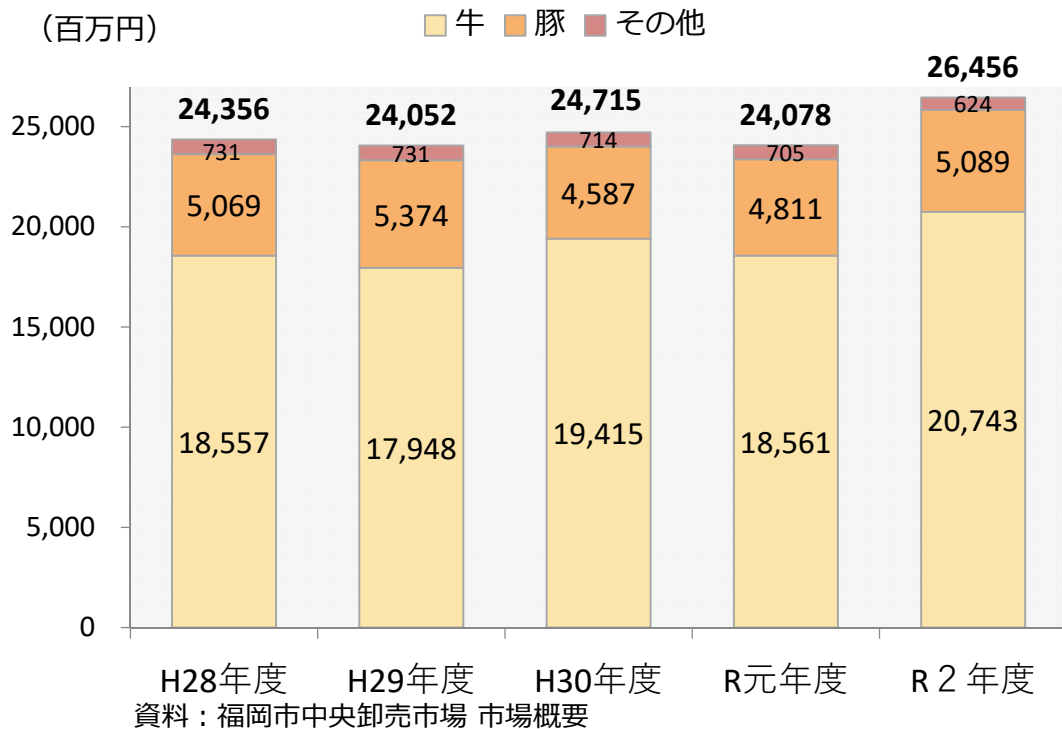


(3) 食肉部

<取扱数量>

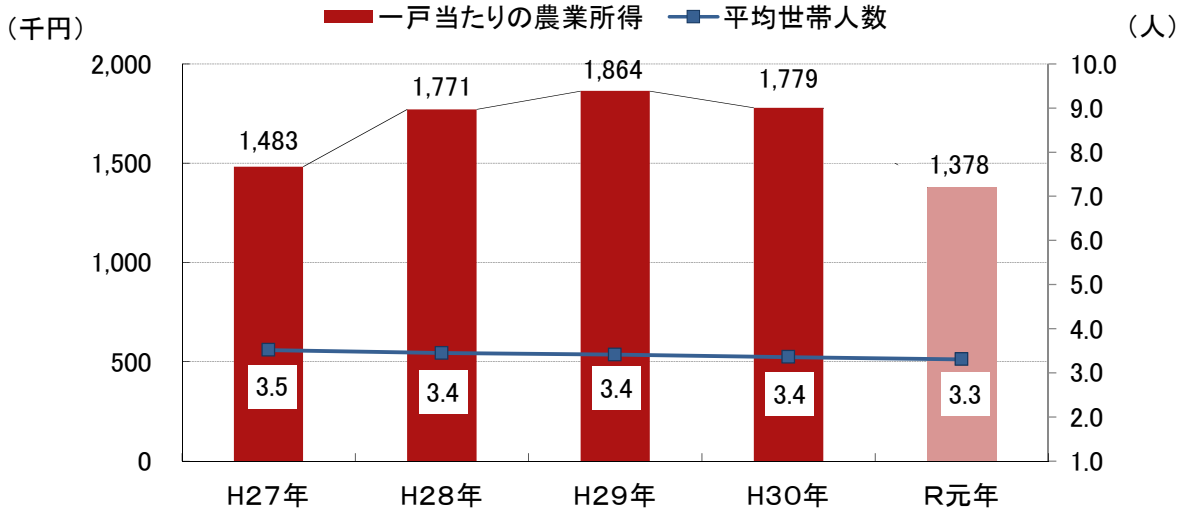


<取扱金額>



【参考】

(1) 一戸あたり農業所得（推計）及び平均世帯人員



※農林水産省「農業経営統計調査」による九州の販売農家(R元年は個人経営体)の農業所得を基に推計(1月1日時点)
 ※R元年から国の調査項目が変更され、経費として計上される項目が増加している。
 ※平均世帯人員はJA福岡市の調査結果を基に算出

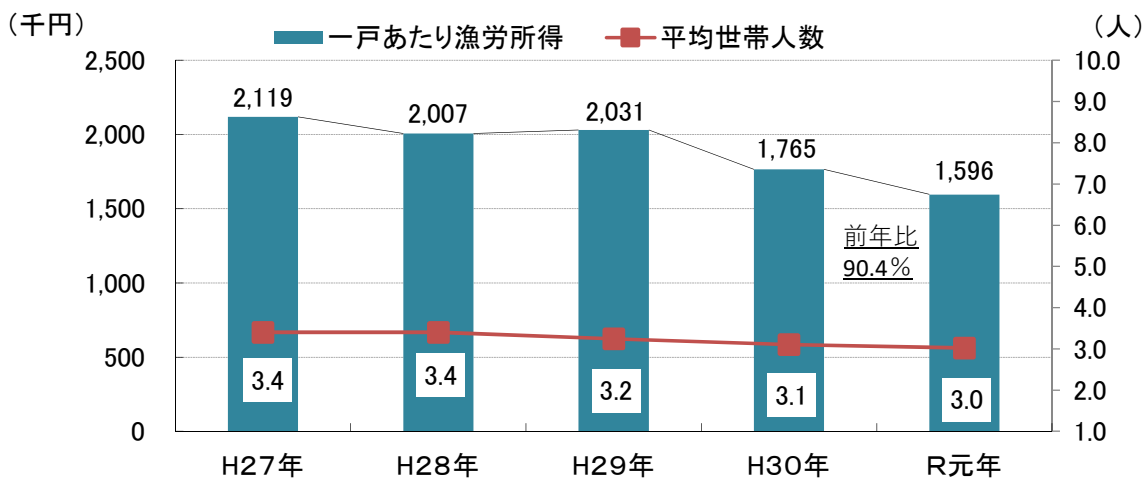
<参考>

令和2年度農家の実態調査のまとめ(JA福岡市)

区分	専業農家	第1種兼業	第2種兼業	備考
平均世帯人員(人)	4.1	3.8	3.2	令和2年度農家の実態調査のまとめ(JA福岡市)を基に算出
1戸あたりの農地耕作面積(a)	158.5	165.4	31.9	「農地耕作面積」は畦畔を含まない面積で、栽培面積(作付作物あり)と管理面積(作付作物なし)の合計

※令和2年8月1日時点

(2) 沿岸漁業の一戸あたり漁労所得（推計）及び平均世帯人員



※本市沿岸漁業総生産額を漁家戸数で除し、漁労所得の割合を乗じたもの。(漁労所得の割合は、水産庁「水産白書」による。)
 ※各年1月1日時点

<参考>

令和2年沿岸漁業漁家調査のまとめ(福岡市漁業協同組合)

平均世帯人員(人)	3.0	令和2年福岡市漁業協同組合に実施した漁家調査を基に算出
-----------	-----	-----------------------------

※令和2年12月末日時点

(3) 令和2年度福岡市農家所得調査結果

① 調査の概要

ア. 調査対象

福岡市農業協同組合の組合員世帯（東区の一部・博多区・南区・城南区・早良区・西区）3,175世帯（令和2年8月1日現在）

イ. 調査方法

- ・福岡市農業協同組合各支店を通じて配布・回収
- ・農家には、品目毎の売上金額のみを記入依頼
- ・売上金額に、福岡市農業協同組合が作成した標準的な品目毎の所得率を乗じて所得金額を算出

ウ. 調査期間

令和2年8月～12月

エ. 回収状況

区 分	配布数(A) (戸)	有効回収数(B) (戸)	調査率(B/A)
専 業	257	83	32%
第1種兼業	187	77	41%
第2種兼業	2,731	245	9%
合 計	3,175	405	13%

② 結果の概要

ア. 農家分類別収入金額

(単位：千円)

区 分	令和元年 農業収入 (平均)	農業収入に対する農業外収入状況(平均)		
		給与収入	不動産収入	その他(年金等)
専 業	12,423	-	-	-
第1種兼業	9,503	404	2,111	1,253
第2種兼業	1,169	1,616	10,237	1,713

(4) 令和2年度福岡市漁労所得調査結果

① 調査の概要

ア. 調査対象

福岡市漁業協同組合の漁家世帯 388 戸（令和2年10月末現在）

イ. 調査方法

- ・福岡市漁業協同組合各支所を通じて配布・回収
- ・漁家には、漁労収入及び支出の金額を記入依頼

※漁労所得金額 = 漁労収入金額 - 漁労支出金額

ウ. 調査期間

令和3年1月8日～令和3年3月8日

エ. 回収状況

配布数(A) (戸)	有効回収数(B) (戸)	調査率(B/A)
388	368	94.8%

② 結果の概要

ア. 漁労収入金額別戸数

	令和2年 漁労収入 (平均)	戸数	200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上
全体	4,478千円	< 302 > ※	< 93 >	< 79 >	< 44 >	< 86 >

< >は 戸数

イ. 漁労所得金額別戸数

	令和2年 漁労所得 (平均)	戸数	200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上
全体	2,229千円	< 302 > ※	< 153 >	< 86 >	< 43 >	< 20 >

< >は 戸数

※有効回収数 368 戸のうち、漁労収入及び漁労支出の回答があったもの。

ウ. 年代別漁労所得金額 (単位：千円)

年 代	令和2年漁労所得 (平 均)
全 体	2,229 < 302 >
20代以下	2,117 < 7 >
30代	1,371 < 10 >
40代	3,451 < 34 >
50代	2,830 < 60 >
60代	2,127 < 105 >
70代	1,618 < 73 >
80代以上	1,242 < 13 >

< >は 戸数

エ. 主な漁業種別漁労所得金額 (単位：千円)

主 な 漁 業 種	令和2年漁労所得 (平 均)
はえ縄 (フグ)	4,124 < 21 >
定置網(アジ、ブリ)	3,283 < 7 >
底びき網 (エビ、カレイ)	3,089 < 33 >
ごち網(タイ、カワハギ)	2,827 < 48 >
さし網(ブリ、カレイ)	2,784 < 37 >

※漁業種別平均漁労所得金額上位5種 ()は主な魚種 < >は 戸数

③ 令和2年 年代別高所得漁家の事例

- 20代 ごち網 年間漁労所得金額・・・4,820 千円
- 30代 ごち網 年間漁労所得金額・・・4,700 千円
- 40代 はえ縄 年間漁労所得金額・・・13,700 千円
- 50代 さし網 年間漁労所得金額・・・15,390 千円
- 60代 はえ縄 年間漁労所得金額・・・18,190 千円
- 70代 一本釣 年間漁労所得金額・・・20,670 千円
- 80代 さし網 年間漁労所得金額・・・6,200 千円